

美術と食育が連携し、学芸発表会で展示された作品。文様が彫られた木製の皿に、樹脂粘土で表現した練り切りが載せられている（江戸川区立篠崎中学校）

特集●2 東京都江戸川区立篠崎中学校・一之江小学校・足立区立梅島小学校

図工・美術で表現する食文化

◎写真と文／海老原誠治（資源と環境の教育を考える会『エコが見える学校』・関東学院大学非常勤講師・三信化工株式会社）

■本文 30～43 ページ

和食と文化・環境を切り口としたプログラム（30～43 ページ参照）を実践する中で、和食器に描かれる伝統的な文様から、図工（総合的な学習の時間）や美術と食育を連携して展開しました。子どもたちの

作品からは、伝統文様からの「気づき」や独創性、表現力などを、さまざまに感じることができます。

また、実際に和食器に触れる機会として実施した「和食給食」では、子どもたちの声をお届けします。

江戸川区立篠崎中学校

和菓子を題材とした「日本の美意識」がテーマの美術の授業と、うつわの伝統文様の食育授業が連動し、練り切りと木彫りの皿を生徒が制作。抽象的な存在を表現した和文化が見事に取り入れられ、実践されていました。



和の「しつらい」の文化を考えるワークショップ



藤原みなみ美術科教諭による、練り切りの指導



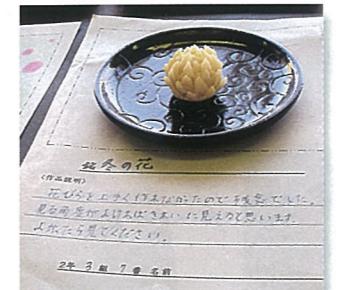
たんぽぽと春の風景をデザインしたお皿



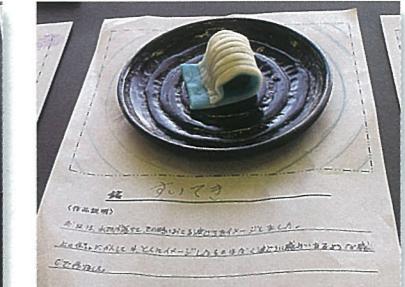
雪解けをイメージさせる抽象的な表現の練り切りとお皿



かぼちゃとつるの文様を組み合わせている



唐草文様のお皿が冬の花にぴったりと似合っている



水滴が落ち、波紋が広がる様子を表現している



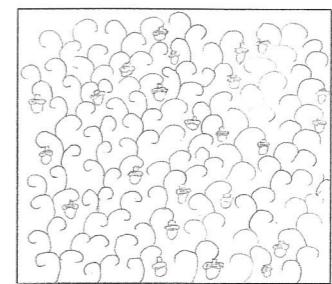
給食とも連携し、和食に合う器に触れる時間をつくった

江戸川区立一之江小学校

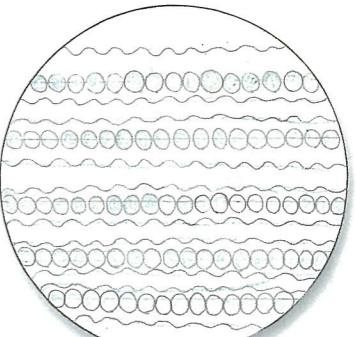
6年生の総合的な学習の時間に「伝統文様を考えよう」の授業を行い、文様を鉛筆で下書きした後、ペンや色鉛筆を使って清書しました。作品は展覧会で飾られ、多くの来場者の目を引いていました。



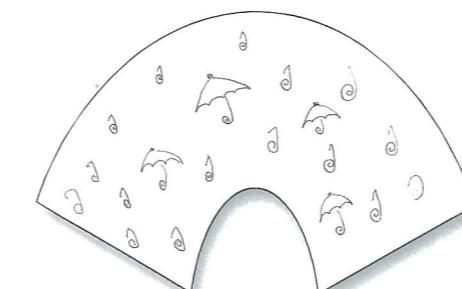
催された展覧会の入り口に飾られた
子どもたちが描いた文様が、秋に開



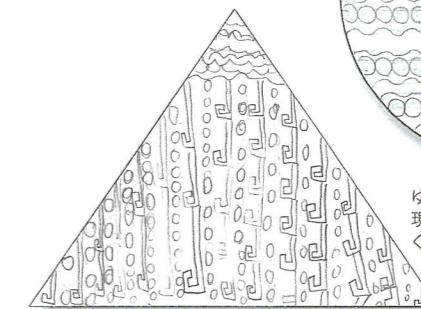
かのどかにのんびりした表現
かのどかにのんびりした表現



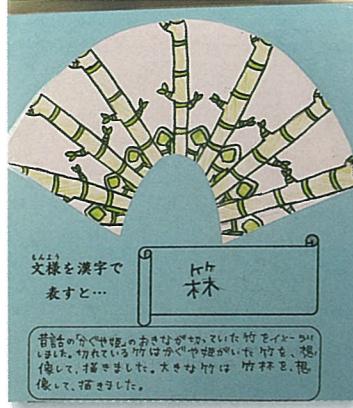
ゆらゆらしたワカメと塩の粒を表現。
身近な物を題材にするのは、多くの文様の基本



雨傘の小紋、現代らしく軽やかだが、表現されたのは今も昔も身近な生活



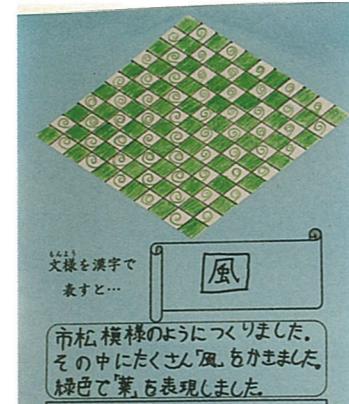
雨から激しい雷雨が…。伝統文様を取り入れながらも斬新で大胆な構成



自分で創り出した漢字一文字で文様を表現。かぐや姫の物語をイメージして描かれている



丸小皿に使われる構図をモチーフに、学校の花壇に咲くパンジーを表現

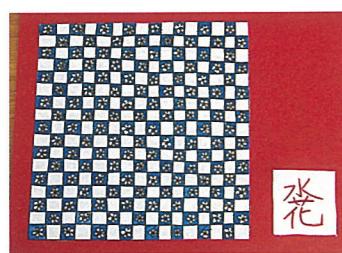


シンプルでリズミカルに「風」と「葉」を文様にして描いている



足立区立梅島小学校

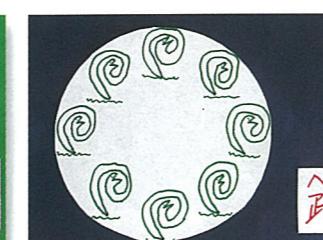
6年生の総合的な学習の時間を使い、自分たちで考えた文様を鉛筆で下書きした後、ペンや色鉛筆で清書。少ない色使いながらも構図を工夫して表現され、独特の世界観が描かれていました。



細かく描かれた味わい深い文様



魚眼レンズ的な構図で表現



単体だとコミカルなへビだが、繰り返しをすることでデザインとして成り立っている



雨の滴の中に逆さの梅の木を描き、水滴に映った一瞬を切り取っている



大胆なデザイン、構図と色が主張している

和食器で給食

和食給食の時間は、五感を使って和食器に親しみ、しつらい・四季のうつろい・風物詩などへの「気づき」の機会となりました。

～児童生徒の感想・原文のまま～

いつもとちがうがらで食べる時に、いろいろ春、夏、秋、冬を想像しながら食べたら、とても楽しく食べられたので良かったです。[小5]

おなじ色でかいでいるのに、なにがかいてあるのかよくわかりました。昔の人のひょうげんのしかたもすごいと思いました。[小5]



和食器に盛られた献立【ワカメごはん・サバのみそ煮・生揚げのそぼろあんかけ・アーモンドあえ・みそ汁】(板橋区立大谷口小学校)



和食器で食べると、どこかに和食を食べに行ったみたいでした。楽しかったです。[小6]

うつわを、ぱっと見ただけだと、なんのえがいてあるのか、よくわからなかったけど、考えながらじっくり見てみると、日本の四季がかかれているんだな、ということがわかりました。一つおどろいたことがあります。それは、昔の人は、水をたくさんかいています。今は、水があるのはあたりまえだけど、今もだけど、昔はもっと、水は大切だったんだな、と思いました。[小5]

いつもの給食と変わらないメニューでしたが、和食器で食べると味が違う感じがしました。(中2)

和食器で食べると、なんか日本人だなと思えました。[中2]

〈使用した給食用の和食器〉

◎ なます皿・唐草文

古代地中海が発祥の唐草文、文化が通った証となります。



◎ 角皿・いかだ流し文

木材を流し運ぶいかだ舟。自然に受け入れられつつも、自然を活用した生活の風物詩が描かれています。



◎ 手塩皿・松竹梅文

めでたい松竹梅。松竹の生きる力に励まして冬を越し、訪れる春への喜びを梅で表現しています。



◎ 汁椀・漆内朱塗手

漆塗りをあしらった樹脂椀、中に尊さを表す朱の色を配します。



◎ 黒塗盆

※強化磁器とPEN樹脂(汁椀)・PP樹脂(盆)を素材とし、汎用の給食を前提として、業務用洗浄・消毒保管に耐える業務用仕様としている。
[お問い合わせ: 三信化工(株)東京支店 Tel. 03-3539-3414]